

令和5年度後期 武藏野市寄付講座

市の寄付によって、大学が開設する特設講座です。後期は、亜細亞大学・成蹊大学・武藏野大学・東京女子大学の4大学で開講します。各大学の講座内容や日程などご確認のうえ、お申込みください。

亜細亞大学 現代教養特講 デジタル時代における都市

コーディネーター：李 立栄（都市創造学部准教授）スカウテン・アンドリュー（都市創造学部講師）

日時：令和5年10月4日～令和6年1月17日 水曜（全13回）・午後3時15分～5時

成蹊大学 民主主義について考えるための14講

コーディネーター：野口 雅弘（法学部政治学科教授）

日時：令和5年9月28日～令和6年1月18日 木曜（全14回）・午前10時40分～午後0時20分

東京女子大学 翻訳学特論：翻訳から見る異文化摩擦【オンライン講座】

コーディネーター：田中 美保子（現代教養学部教授）

日時：令和5年9月19日～令和6年1月23日 火曜（全15回）・午前10時55分～午後0時25分

武蔵野大学 “むさしの”推し活プロジェクト！～武蔵野学から未来を拓く～

コーディネーター：土屋 忍（教授・文学部長・むさし野文学館館長）

日時：令和5年9月23日～令和6年1月27日 土曜（全14回）・午前10時40分～午後0時20分

お申込みにあたり、下記をご確認ください。

- ・東京女子大学はオンラインで開催します。受講方法は受講決定後にご案内いたします。
- ・講師・日程・テーマ等の変更、また今後の新型コロナウィルス感染症の感染状況により開講方法の変更や中止となる場合があります。ご承知おきください。
- ・各回テーマや詳細は、次頁以降をご確認ください。
- ・武蔵野地域自由大学ポイント付与対象講座です。4分の3以上の出席（受講）で、1ポイントが付与されます。
- ・当選が決定した方は、別途ご提出いただく書類等があります。5ページもご確認ください。

■募集要項

●対 象：18歳以上で武蔵野市内在住・在勤・在学の方および武蔵野地域自由大学学生

●定 員：各大学50名(超えた場合は抽選)

●費 用：各大学5,000円（資料代）

●申込方法：以下の①～③のいずれかの方法でお申込ください（自由大学学生以外の方は①、②）。

①直接武蔵野プレイス3階自由大学事務局窓口にて申込み

②「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」より申込み

(URL：<https://yoyaku.musashino.or.jp/mnet/web/index.jsp?MODE=2>)

※武蔵野市在勤・在学の方は勤務先・学校名を備考欄に明記。

※インターネットでお申込の場合、結果通知の郵送はありません。

各自申込サイトで確認してください。

③自由大学学生の方は自由大学事務局(0422-30-1904)へ電話で申込み



申込みはこちら

●申込期間：7月11日（火）～7月31日（月）必着

●抽選結果公開：8月15日（火）～各大学初日

お申込時にいただいた個人情報は「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」を運営する武蔵野文化生涯学習事業団が管理運営する施設の予約及び教室の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはありません。

主催：武蔵野市 問合せ：武蔵野地域自由大学事務局

〒180-0023 武蔵野市境南町2-3-18 武蔵野プレイス3階 TEL：0422-30-1904

筆記録 亞細亞大学

「現代教養特講 デジタル時代における都市」

コーディネーター：李 立栄（都市創造学部准教授）

スカウテン・アンドリュー（都市創造学部講師）

日時：令和5年10月4日～令和6年1月17日

水曜（全13回）午後3時15分～5時

内容：わが国において、人口減少や少子高齢化は深刻な問題であり、今後持続的な都市の発展にも大きな影響を与えている。すなわち、社会の少子高齢化の進展は、消費の減少を通じて地域経済の低迷をもたらすほか、医療・介護ニーズの増大、交通需要の変化など新たな行政サービス需要を増大させる。加えて、若年人口の減少は、経済活動や地域活動の担い手不足をもたらし、地域社会の持続可能性を低下させている。

近年、情報通信技術の発達を背景に、世界的に「都市のデジタルトランスフォーメーション（DX）」の取り組みが行われている。すなわち、デジタルを活用してさまざまなサービスを最適化して変革し、都市の課題解決を図ろうとするものである。本講義では、わが国で山積するこうした都市問題に焦点に当てて、DXでどのように解決が可能なのか、その可能性と新しい価値創造について学ぶ。各分野の実務専門家を迎えて、それぞれの視点から、デジタル時代における都市に関わるさまざまなテーマについてお話しeidただく。

具体的には、国内のスマートシティ、アジアのデジタル都市、環境に配慮した欧州の交通サービス、米国の自動運転車などの先進事例を紹介する。さらに、デジタルマネーを活用した都市（地域）の発展や、デジタル時代の国際金融都市、SDGsにおける都市創造などを学ぶ。

デジタル変革の進展で、新しいまちづくりはどのような姿になるかについて一緒に考えてみよう。

回	月日	テーマ	講師
1	10/4	イントロダクション —なぜ今、デジタルで都市の活性化と持続的な発展が必要なのか	李 立栄（都市創造学部准教授）
2	10/11	現代の都市問題とデジタルの可能性 —高齢化・医療・介護問題への取り組みを中心に	藤田 哲雄（京都大学経営管理大学院特定教授）
3	10/18	社会的孤立とデジタル化 —「分断」か「つながり」か—	有末 賢（都市創造学部教授）
4	10/25	デジタルによる新しい価値創造	藤田 哲雄（京都大学経営管理大学院特定教授）
5	11/8	DXを推進するスマートシティへの応用	岡村 久和（都市創造学部学部長・教授）
6	11/15	アジア都市の未来と先進事例	後藤 康浩（都市創造学部教授）
7	11/22	アジアにおける日本のスマートシティの展開	霜田 純（双日株式会社インフラ・ヘルスケア本部 社会インフラ開発事業部 都市開発事業課課長）
8	11/29	サーキュラーエコノミーに配慮した街づくり —フィンランドの先進事例	Inka-Liisa Häkälä（フィンランド大使館商務部上席商務官）
9	12/6	自動運転と都市交通の未来 —アメリカの先進事例	スカウテン・アンドリュー（都市創造学部講師）
10	12/13	デジタルマネーと都市（地域）の発展	李 立栄（都市創造学部准教授） ゲストスピーカー：藤田 哲雄（京都大学経営管理大学院特定教授）
11	12/20	デジタル時代の国際金融都市 —Tokyoの可能性と展望	赤羽 裕（都市創造学部教授）
12	1/10	国際版SDGsと都市開発の持続的な発展	岡村 久和（都市創造学部学部長・教授）
13	1/17	総括、デジタルで進める新しいまちづくり	李 立栄（都市創造学部准教授）

成蹊大学

「民主主義について考えるための14講」

コーディネーター：野口 雅弘（法学部政治学科教授）

日時：令和5年9月28日～令和6年1月18日

木曜（全14回）午前10時40分～午後0時20分

内容：民主主義についての最近の本のタイトルには、「試される」「侵食」「壊れ方」「崩壊」「死に方」「アゲンスト」など、気が滅入る言葉が並んでいます。そんなに暇でもないので、もう誰かにお任せしたいと思う人もいるかもしれません。マックス・ウェーバーは、政治参加の条件として「手が離せる」ことを挙げています。つまり、日常の仕事を一度中断して（手を離して）自由に議論したり、活動したりする時間的・精神的な余裕のことです。いま私たちはどんどん忙しくなり、ますます「手が離せなく」なっています。ちょっと痩せ我慢しても、立ち止まって民主主義について考える機会が必要ではないでしょうか。この講座が提供するのは、そのための普段とは違う特別な時間です。

回	月日	テーマ	講師
1	9/28	武蔵野市と政治参加	小原 隆治 (早稲田大学政治経済学術院教授)
2	10/5	民主主義とは何か	宇野 重規 (東京大学社会学科研究所教授)
3	10/12	ジェンダーに配慮した議会	辻 由希 (東海大学政治経済学部教授)
4	10/19	戦後民主主義	平石 耕 (法学部教授)
5	10/26	水道の再公営化から考える、 公共の再生と地域主義（ミュニシパリズム）	岸本 聰子(杉並区長)
6	11/2	世代で異なる政党対立認識	遠藤 晶久 (早稲田大学社会科学総合 学術院准教授)
7	11/9	野党と民主主義	今井 貴子 (法学部教授)
8	11/16	代表と民主主義	早川 誠 (立正大学法学部教授)
9	11/30	在留外国人と民主主義	宮井 健志 (法学部客員教授)
10	12/7	リベラルと民主主義	田中 拓道 (一橋大学社会学部教授)
11	12/14	報道と民主主義	油井 秀樹 (NHK報道局国際部)
12	12/21	くじ引きと民主主義	岡崎 晴輝 (九州大学大学院法学研究院教授)
13	1/11	PTAと民主主義	岡田 憲治 (専修大学法学部教授)
14	1/18	民主主義と「経済」の言語	重田 園江 (明治大学政治経済学部教授)

東京女子大学【オンライン講座】

「翻訳学特論：翻訳から見る異文化摩擦」

コーディネーター：田中 美保子（現代教養学部教授）

日時：令和5年9月19日～令和6年1月23日

火曜（全15回）午前10時55分～午後0時25分

内容：「翻訳」は、言語や文化を映し出す鏡である。鏡が弾いたり歪めて映し出したりした要素に着目することで、原作と翻訳先の言語や文化の違いが見える。本講義を通じて、こうした問題への意識を高め、多文化共生社会に必須の異質な他者への寛容さや共感力を育むことを目指す。

具体的には、まず、翻訳を分析する方法について紹介する。そのうえで、さまざまな事例に見られる「ズレ」に着目して「英和（日英）対照研究」の手法により、プロの翻訳者が翻訳した文と原文との比較対照と分析を行う。素材には、言葉がより複層的な意味をもって用いられる様々な文学作品（児童向け／一般向け）を用い、現代日本文学の英語訳や現代英米文学の日本語訳を各原文と比較検討する。

一方的な講義ではなく、受講者に問い合わせたり意見を求めるなどしながら進めるので、事前課題に目を通して受講できることを望ましい。（履修者の英語レベルは特に問わない。）

回	月日	テーマ	講師
1	9/19	イントロダクション ①授業概要・進め方 ②「翻訳」とは？「翻訳学」とは？ ③「翻訳学」の主な研究方法と基本用語	田中 美保子 (現代教養学部教授)
2	9/26	「翻訳学」の研究方法（1） 翻訳史的アプローチと「翻訳語」について	
3	10/3	「翻訳学」の研究方法（2） 「翻訳学」における「等価」と「ズレ」、翻訳不可能性について	
4	10/10	「翻訳学」の研究方法（3）英和対照研究への導入	
5	10/17	特別講演「翻訳の現場から」（仮題） ゲスト講師：松岡和子氏（翻訳家・演劇評論家）	
6	10/24	原作と翻訳の英和・日英対照（1） パラグラフ	
7	10/31	原作と翻訳の英和・日英対照（2） 固有の事物・風物・習俗・制度など	
8	11/7	原作と翻訳の英和・日英対照（3） 固有の表現・表記、オノマトペ	
9	11/14	原作と翻訳の英和・日英対照（4） 主語の省略、心情表現の具体性と抽象性	
10	11/21	原作と翻訳の英和・日英対照（5） 時制と感情移入	
11	11/28	特定の文学作品の原作と翻訳の比較対照（1） 比較方法への導入	
12	12/5	特定の文学作品の原作と翻訳の比較対照（2） 英和対照表の作成	
13	12/12	特定の文学作品の原作と翻訳の比較対照（3） 英和対照表の分類・分析	
14	1/9	特定の文学作品の原作と翻訳の比較対照（4） 分析レポートの仕上げ	
15	1/23	振り返りとまとめ—「翻訳」は言語や文化の鏡	

武蔵野大学

「”むさしの”推し活プロジェクト！～武蔵野学から未来を拓く～」

コーディネーター：土屋 忍（教授・文学部長・むさし野文学館館長）

日時：令和5年9月23日～令和6年1月27日 土曜（全14回）

午前10時40分～午後0時20分

内容：「万葉集」以来、「むさしの」は、様々な作品の中で重要なモチーフとして表象されることにより人々の記憶に刻まれてきました。そして国木田独歩の「武蔵野」以降、多くの文人が独歩に対抗するように自身の「武蔵野」像を描いてきました。文学の武蔵野／武蔵野の文学については、これまでの研究でも扱われてきましたが、【むさしの・むさし野・武蔵野・ムサシノ・Musashino】は、まだまだ過小評価されています。文学のみならず、映画や漫画、アニメーションなどにも対象を広げて「武蔵野学」として考察し、改めて私たちの足元を見つめなおし、武蔵野の未来と一緒に考えませんか？

回	月日	テーマ	講師
1	9/23	開講式・オリエンテーション 武蔵野とは何か 武蔵野イメージの言語化と共有（グループ学習） まとめ	西本 照真（学長・教授） 土屋 忍（文学部長・教授）
2	9/30	武蔵野とは何か 近代以前と近代以後の武蔵野 全体の見取り図	
3	10/14	国木田独歩の「武蔵野」とその受容圏	
4	10/21	与謝野夫妻の武蔵野	
5	10/28	掃苔の武蔵野－禅林寺の鴎外展墓をめぐって－	
6	11/4	俳句と短歌の武蔵野 －正岡子規・高浜虚子、土岐善磨・会津ハ一を中心にして－	
7	11/11	大正期前後の武蔵野－芥川龍之介・菊池寛・西条八十を中心にして－	
8	11/25	雪女の武蔵野－小泉八雲とラフカディオ・ハーン－	
9	12/2	無頼派の武蔵野－坂口安吾と太宰治を中心にして－	
10	12/9	詩の中の武蔵野－金子光晴と茨木のり子を中心にして－	
11	12/16	推理小説の武蔵野－松本清張を中心にして－	
12	12/23	引揚上京者の武蔵野（五木寛之、村上龍）、 あるいは東京人の武蔵野（大岡昇平・三浦朱門・黒井千次）	
13	1/20	漫画家たちの武蔵野－手塚治虫から未来へ－	
14	1/27	初回からのふりかえり 武蔵野とは何だったのか（グループ学習） まとめ 閉講式・オリエンテーション	西本 照真（学長・教授） 土屋 忍（文学部長・教授）

当選が決定した方の提出物

・資料代 ……必要書類提出時に、武蔵野プレイス3階自由大学事務局でお支払いいただきます。（各大学5,000円）

・受講同意書…抽選結果通知に用紙を同封します。

・健康診断書…1大学につき1部（コピー可）、自治体で行われる健康診査でも結構です。

※東京女子大学を受講の場合は、オンラインで開催するため不要です。

必須内容 ①受診者氏名 ②受診日（令和4年8月1日以降のもの）

③胸部レントゲン検査結果（レントゲンフィルム不要） ④医師の総合所見 ⑤担当医師名

・証明写真 ……1大学につき1枚、ただし成蹊大学・東京女子大学は不要。スナップ写真不可。

武蔵野大学は白黒写真不可。

※当選された方には、提出方法など詳細を郵送でご案内いたしますので、そちらをご確認ください。

※証明写真・健康診断書等、受講手続きに要する費用は、受講者の負担となります。

※提出期間:8月15日(火)～8月27日(日)

